

ホットライン社会科

第87号 R7. 9. 5
発行 岐阜県小学校
社会科研究部会

令和7年度 夏季研究協議会

研究主題

よりよい社会の実現を目指す子が育つ社会科学習

～子どもが社会とつながる授業を通して～



8月20日（水）に令和7年度夏季研究協議会を開催しました。今年度は現地参集とオンラインのハイブリッド形式で行われ、より多くの先生方と広く学び合うことができました。

第一部の全体会では、まず研究部から、昨年度までの成果と課題、研究主題の設定の理由と主題のとなえ、研究内容の理論について説明いたしました。

研究主題を具現するための4つのキーワード「自分」「見通し」「多角的」「選択・判断」を設定し、研究内容1～3と関連付けました。

◎夏休み明けの授業で取り入れたいこと

①「単元見通しカード」の活用を継続する。

- ・まず使ってみる。
- ・「振り返り」を個人で累積していく。
- ・単元のはじめの「課題づくり」や「計画づくり」で活用する。

→「個別最適な学び」へつなげる

②「つまり…」「本当にそうなの？」と考える学習活動を日常的に仕組む

- ・1時間に1回でもこの思考を働かせることができるよう計画をする。
- ・方法は多様にある。
- ・くり返すことで力が身に付く。

→「社会科の学び」を深める

次に岐阜県教育委員会から車戸先生を講師としてお招きし、指導助言と「これからの社会科授業で大切にしたいこと」について、下の表の内容についてご講話をいただきました。

1	主体的・対話的で深い学び
2	社会的な見方・考え方
3	単元全体での問題解決的な学習の充実
4	ICTの効果的な活用
5	学習評価の基本的な考え方
6	指導と評価の一体化

県小社研の研究主題「よりよい社会の実現を目指す子が育つ社会科学習」の具現のためには、「子どもが社会とつながる授業」を展開することを通して、子どもが確かな社会認識を獲得し、社会に参画する力を高めていくことが大切です。今後のご実践の中で、車戸先生のご講話の内容を少しでもご実践いただき、子どもたちが社会科を学ぶ楽しさを味わえる授業が県内各地で展開されることを願っております。

第二部では、県大会可茂地区大会に向けて、可茂地区の会員で当日の打ち合わせを行いました。当日の動き、当日までの準備、物の所在の確認、実際の動きの確認等についての打ち合わせを行い、滞りなく会を終えることができました。当日は盛会となることを心よりお祈り申し上げます。